特定非営利活動法人　静岡市障害者協会
平成２５年度事業報告書

Ⅰ　成果及び課題

Ａ　成果

１．法人経営

⑴　当協会は、平成１７年の任意団体としての発足以来、静岡市における中核的な障がい者当事者団体の一つとして着実な歩みを重ねてきている。法人独自事業や委託事業の中で、障害者虐待防止等の権利擁護、障がい者に対する社会的障壁の改善に努めた。

⑵　静岡市障害者施策推進協議会、同障害者自立支援協議会、同障害者計画策定懇話会、同特別支援連携協議会等に参画し、当事者の立場に立って様々な施策提言を行うことができた。市議会厚生委員会委員との障がい者福祉懇談会を開催し、会員団体からの要望について理解を深める場を設けることができた。

⑶　平成２３年８月の NPO 法人認証を経て、当協会の活動について、広く市民の理解と支援を受けやすくするために、理事会において認定 NPO 法人を目指すことについて賛同を経て、平成２６年度において仮認定 NPO 法人の申請のために、協力会員の増強ができた。

２．法人自主事業

⑴　障害者プラン勉強会

年間の参加者が延べ２１５人と好評で、市議会厚生委員会委員との懇談会の企画、公職選挙法の改正と障がい当事者の投票行動の保障のあり方、災害時の安否確認システム等、障害者福祉、社会参加、災害時の安全対策等について最新の課題、情報について共有できた。

⑵　移動支援・バリアフリー委員会

公共交通機関（バス）や都市局交通政策課との意見交換を行い、公共交通のバリアフリー化（ユニバーサル化）について啓発に努めた。平成２４年度に参画した江川町交差点の平面横断社会実験の結果、静岡市において横断歩道の設置が平成２６年度予算化された。

⑶　防災委員会

これまで、福祉避難所を想定した宿泊防災訓練を重ねてきたが、福祉避難所のみに頼ることは、かえって障がい当事者の安全が確保できない場合もあり、会員の皆様の協力を得て住み慣れた自宅での避難訓練を行った。自宅の耐震化、家具の固定、備蓄食料や防災用品の確保、安否確認等について、障がい別の課題も含め共有することができた。（訓練報告集について会員団体に配布するとともに、PDF 版 CD を頒布する。）なお、本訓練に対しては報道機関の関心が高く TV２社の取材を受けた。

⑷　共催事業・講師派遣等

静岡人権フォーラム、重症心身障がい児のフレンドシップ講座、障がい者のための生涯学習会、心のバリアフリーイベント、第１回リワーク研究会、福祉教育等、関係機関団体の主催する研修会、講演会、イベントの開催について協力した。

３．静岡市委託事業（静岡市障害者相談支援推進事業）

⑴　静岡市より、基幹相談支援センターの委託を受け、市内１０箇所の委託障害者相談支援センターと連携の下、地域での困難事例の解決や地域課題の集積により、不足する福祉サービス課題を抽出し、静岡市障害者自立支援協議会に提言した。

平成２４年度の提言により、自立支援協議会地域生活支援部会においてプロジェクトチームが発足し、次の事項を検討し、①原因疾病による移動支援の給付制限

の撤廃、②移動支援ヘルパーの人材確保のための講習会の開催が決定した。

⑵　静岡市障害者虐待防止センターとして、２４時間対応を行うとともに、市に通報のあった全ての障害者虐待案件に基幹相談支援センターとして参画することで、当事者団体の目線で障害者虐待の防止、権利擁護に努めた。（通報・相談件数１４０件、実人員５２人）

⑶　障害者１１０番事業においては、身体、知的、精神の各障害者相談員による相談日を週３回常設し、ピアカウンセリング的な立場から身近な相談場所として好評を得た。また、行政書士、県社会福祉士会と連携し、成年後見制度の活用事例を広げることができた。

B　課題

⑴　当協会は、様々な障害関係団体が大同団結していることで、行政や地域住民に一定の影響力を持って施策の提言を行うことができる。歴史的にも規模的にも先行している団体が、これまでの経験と実績を生かし、発言力の小さな後発団体の要望の実現にも支援協力を惜しまないことは、静岡市の障害者福祉全体の底上げ、福祉制度の障害種別間格差の是正に大きく寄与するところである。こうした運動方針が時間の経過とともに薄らいでいることが散見され、協会の基本理念の再検討、明文化が必要である。

⑵　現在は、静岡市よりの委託事業費が全収入の９２％を占めている。相談案件、困難事例の大幅な増加により、同行支援（寄り添い型支援）も大幅に増え、事業活動経費も増大している。また独自事業や各団体との協働事業を充実させるには自主財源の不足は否めない。認定 NPO 法人への格上により、寄付金控除団体となることや、多様な財源の確保策が必要である。

⑶　当協会は、自主事業の継続開催や障害者自立支援協議会の事務局機能の一部を果たすことにより、行政機関との協働関係を保ち、かつ当事者団体としての様々な提言を行っている。こうした活動を年間でまとめた成果物等により、広く地域住民に協会の活動を周知する必要がある。

また、提言の実現に向けては、多様なチャンネルを活用し、着実な進展が図れるように一層の努力が必要である。

Ⅱ　法人運営

1　総会の開催状況

開催日	種類	審議内容	出席状況	議決状況
5月16日	通常総会	１．平成23年度財産目録（貸借対照表）、収支決算書の訂正並びに監査報告 ２．平成24年度事業報告 ３．平成24年度決算報告並びに監査報告 ４．平成25年度事業計画案 ５．平成25年度予算案 ６．役員の選任	41団体・個人中 33団体・個人	全議案を承認

参考　正会員数：４１　内訳　団体正会員：３３　個人正会員：８
協力会員数：５４　内訳　団体協力会員：１０　個人協力会員：１０
特別の協力会員：３４（団体８、個人２６）

２　理事会の開催状況

開催日	回数	審議内容	出席状況	議決状況
5月10日	1	1．総会に上程する議案 2．報告事項	13名中8名	全議案を承認
7月 4日	2	1．資金不足に対する短期借入金について 2．機関紙の愛称募集について 3．厚生委員会との懇談会について 4．特別の協力会員の募集について 5．今年度の自主事業の経過報告 6．自立支援協議会と施策推進協議会とのかかわり 7．報告事項	13名中11名	全議案を承認
9月13日	3	1．機関紙の愛称募集について 2．貸付金の発生について 3．特別の協力会員の募集について 4．今年度の自主事業の経過報告 5．自立支援協議会と施策推進協議会の結果 6．報告事項	13名中 8名	全議案を承認
11月 7日	4	1．新たに締結した契約について 2．特別の協力会員の募集について 3．市社協の権利擁護センターへの要望書の提出について 4．貸付金の発生とその対応について 5．他団体から協会への要請への対応 6．報告事項	13名中11名	全議案を承認
1月 9日	5	1．防災事業の企画と実施について 2．自主財源の確保策・増収策について 3．基幹相談センターとしての業務の範囲について 4．他団体から協会への要請への対応 5．報告事項	13名中 9名	全議案を承認
3月 6日	6	1．総会の予定と役員改選の準備について 2．資金不足に対する短期借入金について 3．防災事業の実施と報告書の作成方針について 4．来年度の事業計画・予算案	13名中 9名	全議案を承認

参考　　理事定数　　６名以上１５名以内　　現状　１３名
（会長､副会長、常務理事を含む）
監事定数　　２名以上　　現状　２名

３　わかば会（正副会長連絡調整会議）の開催状況

出席者：会長、副会長（３名）、常務理事、事務局長
開催日：４月１８日、５月９日、６月１３日、８月８日
１０月１７日、１２月１３日、２月１３日

Ⅲ　協会自主事業

事　業　名	目　　的	内　　容
１　会員団体の連携および拡大事業	協会事業の安定した運営を図るため、障がい者団体等に入会を勧め、自主財源を確保する。	１．会員 正会員は１５団体、協力会員１１３口の増加を計画したが、正会員は1団体・３個人（年度末３１団体・１２個人）の加入となった。 協力会員については、従来の協力会員に加えて、特別の協力会員を募集し、２８団体･個人に協力いただいた（年度末２４５口　２４５，０００円／うち特別の協力会員分１３２，０００円） ２．協会の基本理念の確立 協会の存在意義や活動の内容について、理事会において検討を行った。 ３．自主財源等の確保充実 （１）協力会員（賛助会員）の募集 認定ＮＰＯ化を目指して、パブリックサポートテストを受けるための賛助会員の募集を行い、２８団体・個人に協力いただいた。 （２）助成金・寄付金 ・防災事業の実施のため、静岡県共同募金会から『赤い羽根（障害者の災害時支援体制づくり事業）助成金』の配分を受けた。 ・大口の寄付として、静岡新日軽安全衛生協力会様から２５万円、メディケーションズモリワキ様から６万円をいただいた。 ４．協会の情報発信 （１）会報「わかば」発行事業 会員のために協会の動きなどの内容を掲載した会報を１回発行した。 ・第１５号（８月発行） 特集：平成 24 年度事業報告 平成 25 年度事業計画 紹介：ぴゅあ 報告：・Togetheres ｲﾝしずおか ・総会開催（5/16）の様子 （２）ホームページの運営 協会を広く紹介することと会員発の情報提供を目的にホームページを開設している。開設から年度末まで約１３，６００件、年間平均１，７００件のアクセスがあった。
２　会員団体への活動支援事業	研修等の事業を通して、会員団体の活動の充実に貢献する。	１．独自研修事業「障害者プランの勉強会」 障がい者施策や障がい者を取り巻く事柄について研修、議論する場を設けた。原則、毎月第三水曜、会場は中央福祉センター。

		（1）第1回　4月17日（水） 意見交換：平成 24 年度の内容のふりかえりと平成 25 年度の企画 参加者：２０名 （2）第2回　6月19日（水） 説明：今年度の防災事業の企画案 説明：市議会厚生委員会との意見交換会準備 説明：牧野善浴（常務理事） 参加者：２０名 （3）第3回　7月17日（水） ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ：安否ｺｰﾙ（災害時安否確認ｼｽﾃﾑ） 説明：前田耕助さん（株式会社アドテクニカ） 意見交換：市議会厚生委員会との意見交換会準備 参加者：２０名 （4）第4回　8月21日（水） 行政説明：選挙に行こう～選挙の一般知識～ 説明：深沢伸江さん、西村和宏さん （市選挙管理委員会事務局） 参加者：２０名 （5）第5回　10月16日（水） 講話：「ひきこもり支援について」 講師：三森重則さん（(N）ｻﾝﾌｫﾚｽﾄ代表） 参加者：２５名 （6）第6回　11月20日（水） 意見交換：防災事業：自宅避難訓練について 説明：牧野善浴（常務理事） 参加者：２０名 （7）第7回　12月18日（水） 講話：障がい者ﾌﾟﾗﾝ等策定のための基礎知識 説明：牧野善浴（常務理事） 参加者：２０名 （8）第8回　1月15日（水） 講話：障害者プランの勉強会の歴史と現在 説明：牧野善浴（常務理事） 昼食を兼ねた意見交換会 参加者：２５名 （9）第9回　2月19日（水） ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ：自宅避難する障がいのある人への支援を考える 発表：服部邦子さん（体幹障害者協会） 菅豊彦さん（視覚障害者協会） 海野英子さん（手話ｻｰｸﾙあおいの会） 松永弘さん（静岡市静岡手をつなぐ育成会） 講話：「報告を踏まえて」 講師：江原勝幸さん（静岡県立短大准教授） 参加者：３０名

（１０）第１０回　３月１９日（水）
行政説明：静岡市障がい者プラン等の進捗状況について
説明：蝦名倫代さん、古屋一平さん、長嶋麻友子さん（静岡市障害者福祉課）
上田京華さん（静岡市精神保健福祉課）
参加者：１５名

２．防災関係事業
これまでの防災関係事業での成果を元に、防災事業実行委員会として障害者福祉課など行政との話し合いや、市社協との連携を進めた。
今年度は自宅での避難生活を体験する訓練を開催した。
（１）防災実行委員会〔共同募金助成事業〕
構成：理事所属団体より選出された委員１３名
市社協職員１名、行政職員（隔月）
開催日：会場は中央福祉センター

第１回４/16（火）★	第２回５/７（火）
第３回６/11（火）★	第４回７/２（火）
第５回８/６（火）★	第６回９/３（火）
第７回 10/１（火）★	第８回 11/５（火）
第９回 12/４（火）★	第 10 回１/７（火）
第11回２/４（火）★	第 12 回３/４（火）

★障害者福祉課職員等が出席した日
（２）自宅避難訓練
昨年度までの避難所宿泊研修に変え、今年度は新たに、自宅における避難生活体験を行った。
日時：１月１１日（土）・１２日（日）
会場：中央福祉ｾﾝﾀｰ、参加者自宅、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ等
参加者：３２名

３．移動支援・バリアフリー委員会
移動支援事業を利用者にとって使いやすいものにするための場であり、各分野と定期的な意見交換を図る。今年度は公共交通機関のバリアフリーをテーマにした。
・構成：理事所属団体等より選出された委員１２名
・開催日：会場は中央福祉センター

第１回４/25（木）	第２回５/23（木）
第３回６/27（木）	第４回７/25（木）
第５回８/22（木）	第６回９/26（木）
第７回 10/24（木）	第８回 11/28（木）
第９回１/23（木）	第 10 回２/27（木）
第 11 回３/27（火）	

		４．市議会厚生委員会への働きかけ 静岡市議会厚生委員会の委員と理事・監事、会員団体代表者との意見交換会を実施した。 日時：７月３０日（火） 内容：障がい者団体の課題と提言の発表と質疑応答 意見交換 厚生委員からの感想 参加者：市議会厚生委員６名 協会関係者１１団体
３　障がい者福祉及び啓発事業	障がい者福祉について市民に啓発し、理解を広める。	１．各種団体と連携し、啓発的な事業に協力する。 （１）静岡人権フォーラム：会員団体への啓発 （２）重症心身障がい児者のﾌﾚﾝﾄﾞｼｯﾌﾟ講座（NPO 法人ぴゅあ主催）：会員団体への啓発、講師の派遣 ２．静岡市主催の事業への協力 （１）障がい者のための生涯学習会 日時：２月２２日（土） 会場：城東保健福祉エリア 内容：障がい者の避難生活を考える 講師：江原勝幸氏（静岡県立短大准教授） （２）心のバリアフリーイベント 日時：３月１５日（土） 会場：青葉公園 内容：なんでも相談、弁護士無料相談　等
４　スポーツ及び文化活動への促進事業	障がい者スポーツや文化活動を通して障がい者の社会参加を促進する。	１．障害者スポーツ大会などへの支援と助言 （１）身体障害者スポーツ大会の運営補助(10/6:職員) ２．文化活動への支援と助言 （１）第２８回障害者による書道・写真全国コンテスト（戸山サンライズ主催）応募取りまとめ ・書道の部３７点、写真の部３点　・銅賞１点（書道） （２）葵区・駿河区合同作品展（市老人クラブ連合会主催） ・４点、応募内訳：絵画 4
５　その他の事業	会議、委員会等への参加及び連絡調整等の事務、業務	１．公的な会議、委員会への参加 （１）障害者施策推進協議会（常務理事が委員として出席） （２）障害者自立支援協議会（会長が委員として、協会が事務局として出席） （３）障がい者計画等策定懇話会（常務理事及び事務局長が委員として出席） （４）静岡市特別支援教育連携協議会（会長が委員として出席） （５）市社協理事会への対応（会長が理事として出席） （６）市社協広報委員会への対応（職員が委員として出席） （７）障害者更生相談所広報誌の打ち合わせに出席（職員が出席） （８）福祉有償運送運営協議会への対応（職員が委員として出席）

Ⅳ　静岡市障害者相談支援推進業務（静岡市委託事業）

事　業　名	目　　的	内　容
1　静岡市障害者相談支援推進事業の整備、企画、推進	障害者相談支援推進事業として、基幹相談支援センター事業と障害者相談支援推進事業を運営するための体制を整備し、事業を企画、推進する。	1．本事業の運営の体制整備、企画、推進 （1）業務の体制整備 ①開所日：２４８日(土、日、祭日、年末年始を除く) ②開所時間：原則９時～１７時 ③人員:管理者（相談支援員兼務）　１名 相談支援員(専門職員：常勤専任)　３名 相談支援推進従事職員(非常勤兼務)１名 事務員(常勤職員)　１名 （2）基幹相談支援センター関係の企画・推進 ①総合的・専門的な相談支援の実施 ・総合的・専門的な相談支援 ・困難事例への対応 ・個別支援計画の作成支援等 ・個別支援会議の実施 ②地域の相談支援体制の強化の取組 ・地域の相談機関への助言・指導 ・地域の相談支援事業者の人材育成支援 ・全体会議の運営 ・区の調整会議の運営支援 ・自立支援協議会の運営への協力 ・地域の相談機関との連携強化 ③地域移行・地域定着の促進の取組 ・触法障害者の地域定着支援ネットワーク作り ④権利擁護・虐待の防止 ・成年後見制度利用の支援 （3）障害者相談支援推進事業の企画、推進 ①障害者１１０番事業 ・三障がいごとに選任された障害者相談員が、事務所にて相談対応を担当 ・行政書士が、経験を活かして各種の相談に対応 ②身体障害者補助犬相談事業 ・静岡県補助犬支援センターに事業助成して実施 ・月次報告を受理 ③地域生活及び社会参加等推進事業 ・機関紙の発行（平成 25 年 4 月発行） ・心のﾊﾞﾘｱﾌﾘｰｲﾍﾞﾝﾄ(3/15)の企画への協力 2．障がい福祉に関わる関係機関の連携強化と支援体制の整備促進 （1）行政関係（静岡市）の会議への出席 ①非定型審査会に出席(4/23、5/24、6/21、7/23、8/23、9/19、10/25、11/29、12/20、1/28、2/25、3/25：常務理事) ②障害者施策推進協議会への出席(7/29、3/3：常務理事)

		③相談支援事業所説明会に出席（4/30、3/12：職員） ④相談支援事業評価部会に出席（9/19：事務局長） ⑤移動支援サービスのプロジェクトチーム会議に出席（Ａ班 6/5、7/1、8/9、9/17、11/18：常務理事）（Ｂ班 6/5、6/27、8/27、11/18、1/23：事務局長） ⑥障害者プラン策定懇話会に出席（11/28、12/17、1/16、2/21：常務理事、事務局長） （２）機関等の会議への出席 ①市社協地域福祉活動計画評価委員会に出席（12/11、3/28：常務理事） ②市社協ボランティアセンター運営委員会に出席（3/13：常務理事） ③県障害者１１０番連絡協議会出席（4/19、11/8：職員） ④法テラス静岡連絡協議会に出席（2/25：常務理事） ⑤県立中央特別支援学校評議員会に出席（6/5、10/25、2/5：常務理事） ⑥進路担当者連絡協議会福祉部会に出席（5/23、11/19：職員） ⑦障がい者歯科保健推進会議に出席（7/5、10/18：常務理事） ⑧移行支援会議(附属特別支援学校)に出席（3/11：職員） （３）その他 ①葵区障がい者福祉連携会議の共催（2/24：常務理事、事務局長） ②清水区介護保険ケアマネージャー連絡会に出席（10/31：事務局長） ③障害者就職面接会（静岡労働局主催）にブース参加（5/13、9/17、2/14：職員）
２　基幹相談支援センター事業	総合的・専門的な相談支援、相談機関職員の育成、困難事例への対応、相談支援事業者に対する支援･助言を行なう。 自立支援協議会に協力して課題の解決や福祉の向上に努める。	１．総合的・専門的な相談支援の実施 （１）総合的・専門的な相談支援事業 ①常設窓口（月～金曜日　午前９時～午後５時） ②相談件数　計１３５１件（市内1322、市外22、不明7） ③障がい種別　身体 68 件（肢体 33、体幹 3、聴覚 3、視覚 20、難病 4、不明 5）、知的 1014 件、発達 21 件、精神 84 件、難病 3 件、重複 143 件、その他 18 件 （２）困難事例への対応 ①対応件数　６３７件 ②主なケース a.母親による経済的虐待後の分離により、本人の意向に沿ってひとり暮らしを始めたものの不安の解消、交友関係、金銭管理、服薬管理、その他生活支援など多岐にわたる支援を要した事例 b.触法障害者の地域定着支援 ③ケース会議への参加及び助言・支援 ・個別支援会議参加　５４回

		２．地域の相談支援体制の強化の取組 （１）地域の相談機関への助言・指導　４４０回 ①相談支援センターの相談支援の質の向上の検討 ・相談支援センターの研修の企画、運営 ②移動支援の対象者拡大について検討、助言 ・プロジェクトチームに参加 ③相談支援事業者の個別評価作業 （２）地域の相談支援事業者の人材育成支援　９回 ①相談支援職員研修会（6/25､9/5､3/19）の実施 ②リワーク研修会開催（1/22） ③講師との打合せ等 （３）全体会議の運営 自立支援協議会の実働部隊として各区で開かれる相談支援センターを中心とした連絡調整会議で研修やグループワークを取り入れ､困難事例･課題などを検討した。 ①第１回全体連絡調整会議（拡大事務局会議）の開催 日時　６月２５日（火）13:30-17:00 会場　静岡市中央福祉センター３１会議室 議題　・行政からの連絡事項 ・各区の事務局会議、連絡調整会議の実施方法 ・自立支援協議会への対応 ・計画相談の活用状況 ・各相談事業所より連絡事項 ②第２回全体連絡調整全体会議（相談支援職員研修）の開催 日時　９月５日（火）14:00-16:00 会場　静岡市中央福祉センター大会議室 内容　「対人援助職とストレスマネージメント」 ③第３回全体連絡調整全体会議の開催 日時　１２月１９日（水）13:30-16:30 会場　静岡市中央福祉センター大会議室 内容　・自立支援協議会で協議する課題を抽出するためのグループワーク ・地域別、分野別でグループに分け、１Ｇ10 名前後で課題を協議する ④第４回全体連絡調整全体会議の開催 日時　３月１９日（水）13:30-16:00 会場　静岡市中央福祉センター３１会議室 内容　・「地域移行支援・地域定着支援」の制度の理解、計画相談の進捗状況 ・障害者福祉課から連絡事項 ・各区自立支援協議会について協議 （４）行政区の連絡調整会議の運営支援 全体連絡調整会議前のケース会議として､各相談支援事業者の困難事例、課題について検討し、意見交換した。 ①各区連絡調整会議事務局会議への出席 ・議題：就労継続支援更新審査 困難事例への支援策検討等 問題解決策の検討

・開催日時及び会場

〔葵　区〕

第１回 4/9 第２回 5/14　第３回 6/11
第４回 7/9 第５回 8/13 第６回 9/10
第７回 10/8 第８回 11/12 第９回 12/10
第 10 回 1/14 第 11 回 2/18 第 12 回 3/12
（城東福祉エリア）

〔駿河区〕

第１回 4/9 第２回 5/14　第３回 6/11
第４回 7/9 第５回 8/13 第６回 9/10
第７回 10/8 第８回 11/12　第９回 12/10
第 10 回 1/14 第 11 回 2/18 第 12 回 3/12
（駿河区役所）

〔清水区〕

第１回 4/10 第２回 5/8　第３回 6/12
第４回 7/10 第５回 8/14　第６回 9/11
第７回 10/9 第８回 11/13　第９回 12/11
第 10 回 1/8 第 11 回 2/12　第 12 回 3/13
（清水区役所）

②各区連絡調整会議への出席

・議題：事例報告と意見交換　等

・開催日時及び会場

〔葵　区〕事務局会議と同様（城東福祉エリア）

〔駿河区〕1/14（駿河区役所）

〔清水区〕5/8、8/14、11/13、2/12（清水区役所）

（５）地域の相談機関との連携強化

①静岡労働局（ハローワーク静岡・清水）との連携

・就労ワンストップ相談窓口の対応

葵区	４／１８	１件	５／１６	１件
	６／２０	３件	７／１８	１件
	８／１５	２件	９／１９	１件
	１０／１７	２件	１１／２１	１件
	１２／１９	１件	１／１６	２件
	２／２０	０件	３／２０	３件
			年間計	１８件
清水区	４／２４	２件	５／２２	２件
	６／２６	０件	７／２４	０件
	８／２８	１件	９／２５	０件
	１０／２３	４件	１１／２７	０件
	１２／２５	０件	１／２２	４件
	２／２６	１件	３／２６	１件
			年間計	１５件

・障害者就職面接会に出席（5/13、9/17、2/14：職員）（再掲）

②特別支援学校関係との連携

・県立中央特別支援学校の評議委員会に出席（6/5、10/25、2/5：常務理事）（再掲）

・進路担当者連絡協議会福祉部会に出席（5/23、11/19：職員）（再掲）

・静大附属特別支援学校保護者向け福祉サービス

		説明会に講師として出席（1/24:事務局長） ③研修等の受講・講演会への出席 ・相談支援従事者研修を受講（9/9：職員） ・地域サポーター研修会を受講（全７回：職員） ・難病と福祉の勉強会のパネリスト（11/17：事務局長） ・障害を理由にする差別を考える地方フォーラム（内閣府主催）に出席（3/21） ・ＣＳＷ養成研修を受講（9/9-10、2/13-14：事務局長） ④福祉教育関係の講師、会議への出席 ・市社協福祉教育講師懇談会に出席（8/9：職員） ・生活支援ボランティア講座の講師（11/19：常任理事、12/17：事務局長） ・福祉教育について市社協と打合せ（9/18、11/13 職員） ・福祉教育の講師として出席（9/30、11/11 安西小、12/4 横内小：職員） ３．障害者自立支援協議会の運営への協力 （１）静岡市主催の障害者自立支援協議会に役員が委員として出席し、障がい当事者の立場から意見を具申した。また、事務局として協会職員が関わった。 ①第１３回（２５年度第１回）協議会 日時　平成２５年７月１２日（金）15:30-17:50 会場　静岡市役所本館３階　第３委員会室 議題　・平成２４年度静岡市障害者等相談支援の現状について ・平成２５年度静岡市障害者自立支援協議会の協議体系 ・平成２４年度障がい者虐待防止対策支援事業の現状について ・地域課題「計画相談・障害児相談支援の拡充について」 ②第１４回（２５年度第２回）協議会 日時　平成２６年２月２７日（木）9:00-12:00 会場　静岡市役所本館１７階　１７０会議室 議題　・静岡市障害者等相談支援事業評価の結果 ・地域課題について ・平成２５年度プロジェクトチームの協議経過 ・次期計画策定について （２）地域生活支援部会内に設立されたプロジェクトチームに参加 ①Ａ班（対象者の見直し、通学支援）（常務理事） ②Ｂ班（ヘルパーの不足対策と人材の養成）（事務局長）

		４．地域移行・地域定着の促進の取組 （１）触法等特別なニーズのある障がい者の支援を考える勉強会の開催（7/19､10/30） （２）触法のセミナー「罪を犯した高齢者・障害者の行方」に参加（11/8：事務局長、職員） （３）触法障害者の地域定着支援（金銭管理、同行支援、保護司訪問等） （４）ひとり暮らしの相談者の服薬管理、情緒安定、食事注文等の支援 ５．権利擁護・虐待の防止 **※詳細は「４　障害者虐待防止センター事業」参照**
３　障害者相談支援推進事業	基幹相談支援センター以外の相談支援について、全体的、網羅的に対応し、相談員を配置して総合的な相談支援にあたる。	１．障害者１１０番事業 （１）相談業務 ①開設時間（月～金曜日　午前９時～午後５時） ②障がい別相談と担当団体（午前 10 時～午後 4 時） 火曜　知的　育成会(静岡・清水)、守る会 水曜　身体　肢体、体幹、視覚 木曜　精神　静心会、心明会、しいの木 ③障がい別相談員　延べ 236 名（152 日間） （２）相談の概要 ①相談件数　計 437 件（市内 425、市外 9、不明 3） ②障がい種別　身体 39 件（肢体 16、体幹 4、聴覚 1、視覚 14、難病 1、不明 3)、知的 301 件、発達 6 件、精神 31 件、難病 1 件、重複 52 件、その他 7 件 （３）１１０番相談員活動強化事業 ①障害者１１０番相談員研修会 ・第１回 日時　平成２５年６月１７日（月）10:00-12:00 会場　静岡市中央福祉センター 内容　相談事例から見えてくるもの～障害者相談員の皆様への期待～（講師:堀越英宏氏） ・第２回（相談支援職員研修会と合同開催） 日時　平成２５年９月５日（木）14:00-16:00 会場　静岡市中央福祉センター 内容　対人援助職とストレスマネージメント （講師:静岡市こころの健康センター　根本英行氏） ２．地域生活及び社会参加推進事業 （１）障がい者等の地域生活の推進 ①障がい者の就労に関する新聞取材に協力（7/8：事務局長、職員） ②接客サービス講座の講師(静岡県主催)(11/26､12/11､12/13：職員）

		③障害者のための生涯学習会の共催（2/22） （２）障がい者等の芸術・文化活動およびスポーツの推進 ①第２８回障害者による書道･写真全国コンテスト応募取りまとめ。（再掲） ②市老人クラブ連合会作品展（11/27-12/1）応募取りまとめ（作品４点）（再掲） ③静岡市身体障害者スポーツ大会に出席（10/6:職員） （３）障がいについての理解促進､普及啓発活動の推進 ①心のバリアフリーイベント（12/3～12/9､3/15） ・実行委員会に出席（11/15：常務理事、職員） ・企画委員会に出席（9/25､10/15､12/16､1/16､2/3：常務理事、職員） ・本番の運営に協力 パネル展示の協力、団体間の調整（12/3～12/9） イベント当日相談窓口開設 （出張１１０番相談と弁護士無料相談：９名） ②Togethers ｲﾝ しずおか（日本平ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ主催）実行委員会に出席（4/10､5/8､5/21､6/5：事務局長） 本番の運営に協力（6/8：事務局長、職員）
４　障害者虐待防止センター事業	障害者虐待の通報を受理し、関係機関と連携し、障害者及び擁護者に対する相談・指導・助言を行なう。当事者の視点で本人の人権を守り､権利を擁護する。	１.障害者虐待防止センターの設置・運営 （１）開設時間（２４時間　３６５日） 平日(月～金)午前９時～午後５時　職員が対応 上記以外　　携帯電話に転送、職員が対応 （２）対応件数　計 123 件 ２．虐待関連の会議に出席 （１）虐待対応コア会議への出席（30 回） （２）虐待対応検証会議に出席（12/25：事務局長） ３．虐待防止の啓発 （１）事業所等の虐待防止研修会の講師（8/23､11/25：事務局長） （２）「児童虐待・障害者虐待の実態及びその法的対応について」講演会（のぞみ行政書士事務所主催）の共催（3/8） ４．研修等の受講、講演会への出席 （１）虐待防止・権利擁護研修（県主催）に出席 （8/16､8/26､9/4：事務局長、職員） （２）静岡市障害者虐待防止講演会に出席（2/8：常務理事、事務局長、職員） （３）障害者虐待防止を考えるセミナーに出席（2/25：堀越）